

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	身体拘束をしないケアの実践 ベット2点柵(片側、壁)を行っている。ベットより転落防止の為。	ベット柵をはずし、拘束しない環境に配慮する。	* 週1回身体拘束を行わない方向での話し合いを行っていく。 * 4点柵をはずす方向で夜間は良眠できるように生活のリズムを整えていく。	6ヶ月
2	23 (9)	思いや意向の把握 本人が望むことに近づけるように考慮するものの本人の思うようにする事により、他利用者を混乱させてしまう。	安定した日常生活が送れるように考慮していく。	* 利用者に対してストレスを感じさせない気配りを行っていく。 * コミュニケーションを密に行う。 * 情報・観察を密に行って把握していく。	6ヶ月
3	49 (18)	日常的な外出支援 取り組んでいるものの身体的な面で個人差が出てしまう。	本人の意思に合わせ外出支援を行う。	* 日程は決めず利用者の希望を把握し外出支援を行っていく。 * 家族への呼びかけ、協力を得て外出等の機会を作っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。